

東館

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
理念に基づく運営			1 ~ 5 (自己 1~24・外部 1~14)	自己評価24項目・外部評価14項目	15		
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1~3・外部 1~2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2		
	1	1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念として、地域との連携をあげ地域福祉への貢献の思いをもって開設されたホームである。ホームでは、「のんびり、ゆったり、皆と一緒に一日一日」を理念とし、利用者が一日でも長く地域で暮らせるよう支援に取り組んでいる。	0		
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関や和室の提示、毎月の法人全体集会での訓示等を行っている。毎日の業務を通じて、利用者本位のゆっくり、ゆったりとした生活を支援する等、理念の実現にむけての取り組みがある。	1	グループホームの理念については入職時のオリエンテーションの中で説明するとともにいつでも確認できるようにしている。また、法人全体の現状、方向性については毎月の全体集会で理事長から説明があり、それを職員に説明している。	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域の住民には、運営推進会議を活用して、浸透しつつあり、家族へは家族会を通して浸透しつつある。	1	地域の住民には、運営推進会議を活用して、家族へは家族会を通して理解してもらえるよう取り組んでいる。	
	2		地域との支え合い(自己 4~6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3		
	2	地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩中の近隣の住民と挨拶を交わしている。草花が開花したと言って、花を持参される近隣住民が折られる。	1	居られる
			5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	南大牟田病院主催の地域の祭りに参加して、季節感を味わい、地域との交流を図っている。	1	法人主催の夏祭りに参加し、地域との交流に努めている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を活用し、地域への貢献や協力体制について、話し合いを持っている。非常時の非難先としての、法人関連施設の活用など、あらゆる状況に対応できるよう、検討している。	1	徘徊ネットワークなどの地域活動への参加と協力を行っているが、まだ、事業所の力を提供するまでにはいかず人員の協力程度におさまっている。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	1	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果について、運営推進会議や家族会で報告を行っている。改善点は、スタッフと話し合いながら、取り組みを行っている。運営推進会議のメンバーからも、改善のアイデアやもの見方を助言していただいている。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、利用者の生活や現状について、報告している。会議で出た意見をサービス向上に活かしている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の案内や会議録を、市役所に提出している。行き来している。サービス向上に取り組んでいると思う。	1	運営推進会議の案内や会議録などの市役所提出時に担当者と面会するように心がけたいと思う。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について、学習会を家族会で実施しており、スタッフにも行っている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連法について、学習会を行っており、また利用者が外出、外泊した際も虐待の痕跡は見られない。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	4		理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	6	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や解約で、細かな説明を行い理解していただいている。	1	契約や解約時には、細かな説明を行うように心がけ、理解していただけるように努力している。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	安心介護相談員を受け入れており、機会をつくっている。傾聴ボランティアやお茶くみボランティアを受け入れており、対応を図っている。	1	特別に不満や苦情を表す場を設けているわけではないが、日常の中で職員に直接言われた内容はもちろん、安心介護相談員やボランティアなどの外部の方に言われた情報も取り入れ運営に反映させるようにしている。
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者家族には、健康状態の報告や、日常の出来事、行事等報告を行っている。	1	健康変化による医療機関受診などについては状態報告を家族にその都度報告している。日常的なことについては、家族来所時に現状報告を行っている。
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族と意向や思いを語る場を、積極的に図り、対応している。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する意見交換をする場を、積極的に図っている。	1	スタッフからの意見に対し明らかに無理な提案以外であれば頭ごなしに否定するのではなく、まずは話を聞くようにしている。結果については理由を説明するようにしている。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務の調整や、スタッフの確保の話し合いを行っている。	1	要望があれば法的な人員体制の基準の中で調整可能な範囲であれば調整に努めるようにする。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフが離職しても、スタッフのことを覚えておられない。	1	異動については必要最小限に抑えている。
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	3	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	性別、年齢に関係なく採用している。社会参加や自己実現は、事業者だけの範囲のものではないと思われるし、事業者も範囲的に部分的なものは存在しうるかもしれない。	1	性別、年齢で採用から除外することはない。社会参加や自己実現の権利の保証については、勤務に支障ないことが前提であると考えている。
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育、啓発活動の取り組みを行っている。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任スタッフは、法人内の事業者勤務する療法士に移動、移乗の講習を受けている。	1	段階に応じた研修会などへの参加を行っている。また、資格取得については積極的に進めている。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホーム管理者と、利用者の対応や技術について、意見交換を行っている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	働く者のケアを図る為、相談窓口、対応者を決めて行っている。メンタルヘルスを、同系列の病院が行っている。	1	法人全体でメンタルヘルスケアに取り組んでいる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	目標管理を導入し行うよう計画している。本人のやりたい希望を傾聴し資格取得を奨励している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初対面時ではなかなか自分の思いを話されない為、本人とのかかわりを多く持ち信頼関係を築きながら話の中で見出していくようにしている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	気軽に相談できるような雰囲気を作っていくように努力している。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に合わせて他のサービスや制度を紹介し、相談された家族に選択していただくように支援する	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人を連れて見学に来られたり、納得して入所される場合が多いが、見学に来られたことを忘れてしまっていることが多い為、家族との面会等の回数など本人が不安がられないように、家族と相談しながら早く慣れられるように努めている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評 価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は喜怒哀楽が激しい為、介護者の心の中まで見透かされているような言葉を発したりされる為、声掛けには充分気をつけながら手伝いをしていただいたりする。手伝いをしていただいた時はありがとうございますを忘れずにスタッフも心がけている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と共に考えたりして協力していただくこともある。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族との関係は立ち入ることが出来ないところもある。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。親戚や近所の方の訪問。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の希望に沿って対応している。利用者同士の関わり合い方に工夫はしている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の利用者の面会に来られたりしている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
1 の 一 把 人 握 ひ と り	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		強制はしないよう本人が自由気ままにされるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や嗜好に応じて生活スタイルを出来る限り尊重し存続できるようにしているが、触れられて欲しくないところには立ち入らないことにしている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身の状況に応じて対応している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	理解できる利用者には本人の思いと家族の意向スタッフの意見を聞きながら介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しの介護計画が間に合わない時は、スタッフと話し合い、臨機応変に介護を行い、家族へ連絡了承を得るようにしている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をスタッフ全員で共有しながら工夫し実践している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の多機能性を活かした支援を行っている。介護及び相談援助。同一法人内の事業所の連携を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアで話し相手などを行ってもらっている。民生委員、消防は運営推進会議で情報提供を行っている。	0	
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	MSW、訪問看護と打ち合わせを行っている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議で情報の報告を行っている。	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望によりかかりつけ医など決め適切な対応を行っている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医師に報告、連絡、相談を行っている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護、南大牟田クリニック看護と協働に緊急事態に対する対応、週1回の健康チェックを行っている。	1	訪問看護ステーションみなみ、南大牟田クリニックと連携し入居者の健康維持に取り組んでいる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に病院を訪問しMSWに相談して利して情報を得ている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師の指示の元で対応している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師の指示の元で訪問看護を利用しながら行っている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住まわれる施設などに情報の提供を行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	6	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	6	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーを損ねるようなことはしていない。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	理解して納得できるよう説明をしている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先にならないよう、一人ひとりのペースを大切にしていると思う。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人、家族と話し合いにて希望に応じて行っている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は出来ないがお茶碗洗い、拭き掃除、オシボリたたみ、オシボリ配り、台拭きなどをして頂いている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みのものを日替わりで提供している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間毎に出来るだけトイレに誘導したり尿意便意、が分からない場合は2~3時間毎にオムツ確認を行っている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は決めているが、本人が入浴を拒否されたりした時は後日に入浴を促している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の状況に応じてソファで休息したり眠ったりして自由に過していただいている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	2	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	テレビを見るのが好きな人、居室で一人で過したい人、掃除、お茶碗洗いが好きな人オシボリたみが好きな人、何もしたくない人、側にいて話をするのが好きな人、それぞれである為その人によって対応している。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持し大切に持っておられる。それだけで安心されている人がいる(2人)買い物は家族の訪問時毎日来られる人、週1,2回来られる為困っていないとのこと。理解力が無い人や、お金を持っていないがお金が無くなったと大騒ぎされる為、他の利用者にも不愉快な感じを与えトラブルのもとになる。	1	特段お金を使うわけではないが所持するだけで安心されている人はいるが、この度近隣に買い物ができるコンビニが出来たため利用できるように家族に勧めてみようと思う。
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気が良く暖かいときは戸外散歩したり、ウッドデッキで過される。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と共に外食されることもある。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	県外に住んである方からの電話取次ぎは行っている。	1	本人自らが電話したり手紙のやり取りはないが、家族からの電話があった場合は声を聞かせたりしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつでも気軽に訪問されるよう促して訪問された時は本人とゆっくり話されるよう配慮している。 (お茶、コーヒーの提供)	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティング時やその時の状況に応じ身体拘束をしないケアを理解してもらうよう説明している。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は誰でも出入りしやすいよう玄関にかぎはかけていない	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	他の業務に入ったりする時は他のスタッフに声かけながら必ず見守りを行うようにする。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。例えば(歯磨き粉を本人が届かない所に置く)	1	例えば歯磨き粉を本人が届かない所に置くなどの対応を行っている。	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。(薬名前の確認、転倒防止センサーマット使用、副食ミキサー食)	1	薬名前の確認、転倒防止センサーマット使用、副食ミキサー食の使用、防災訓練などに取り組んでいる。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急法を消防署において訓練している。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議において話をしている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所時及びの説明を行っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	2	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	いつもの状態との違いに気付き、南大牟田クリニック、訪問看護との連携で速やかに対応している。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をみながら用法、一人ひとりの薬を毎回ごとに付けている為重要な血糖、血圧、下剤等は特に気をつけるようにしている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食べ物、水分、排便の有無、腹部膨満の観察し3日排便ない時下剤、浣腸で対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝、夕食後の口腔ケア実施している。	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日1000ml以上は飲んでいただくよう工夫している(牛乳、ポカリスエット、お茶、抹茶、) 昼間水分量が少ない時は夜間に対応している。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	流行時に母体の医療協会が主体に予防法のチラシ等が配布される。	1	関連の医療機関の院内感染委員会や医療安全委員会の指導の下実践している。
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。調理手袋使用、賞味期限は守っている。まな板はハイター付けしている。	1	調理時は調理手袋の使用、使用後の調理器具はハイターにつけ消毒している。食材については賞味期限に注意している。
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	木造作りの一階建てでありホームの周りは季節の花を植えている。	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井は高く圧迫感が無く住みよい環境になっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の思いのままに仲の良いもの同士の居場所できつらいでもらっている。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を居室に設置して、居心地さを体感してもらっている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室温は温度計を確認し冬は加湿器を利用して乾燥を防いでいる。利用者の状況に応じて対応している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はある程度の工夫がなされている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日常生活の混乱の軽減をしている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花や野菜が建物の周りを囲っており、活動しやすい雰囲気を保っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	3		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。